

会津水彩画の現在

# みづゑの流れ展

平成27年

10/24(土) ▶ 11/3(火)<sup>祝日</sup>

会 場：会津若松市文化センター

開館時間：午前9時～午後5時（最終入場・午後4時30分）

【入場無料】 ※11月3日は、午後4時までとなります。  
※10月26日（月）・11月2日（月）は休館日です。

# 会津水彩画の現在・みづゑの流れ展

会津は、水彩画家を多く輩出した地域である。それには、明治30年代の水彩画流行を生んだ画家、大下藤次郎の影響が大きい。大下は、磐梯山の噴火によって新たな景観が生まれた裏磐梯を訪れ、紀行文とともに写生作品を自らが発刊した雑誌「みづゑ」に掲載した。1906（明治15）年、大下が猪苗代の写生に訪れた際、その制作の様子を目のあたりにし、弟子入りを志願したのが赤城泰舒である。同時期、福島県立工業高校を卒業した相田直彦もまた、水彩画家の道を志す。両者は文展や帝展で活躍し、日本水彩画会（1913年）の設立にかかわることとなった。この二人の活躍は、地元の青年たちに刺激を与え、会津中学では図画教師、半沢松吉が指導する「後素会」という美術クラブが発足し、春日部たすくや渡部菊二らが育つ。その後、会津中学出身者による美術団体「彩光会」が1926（大正15）年に生まれ、東京から春日部や相田らが若松に指導に赴き、竹下夢二の歓迎会を開くなど、活発な活動が展開された。山都町の素封家、田代与三久は、春日部との交流を軸に、水彩画家たちの後ろ盾となった。

1940（昭和15）年、春日部と渡部菊二らは東京で水彩連盟を結成し、昭和期における新しい水彩運動の担い手として活躍した。

会津では、会津文化協会によって会津美術協会が設立され、その会長をつとめた荒川三郎（水彩連盟）や渡部憲司（日本水彩画会）の指導により多くの水彩画家が育ち、中央の日本水彩画会展、水彩連盟展や様々な展覧会に作品が出品されるようになった。現在では、従来の透明水彩、不透明水彩絵の具のほかにアクリル絵の具など混合技法も取り入れた作品も発表されている。

（福島県立美術館名品展「ふるさと会津の人と四季」鑑賞ガイド第Ⅱ章 会津水彩画の系譜を参照とした。）

会津水彩画の現在・みづゑの流れ展 作者略歴・作品一覧

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
<b>相田 直彦</b> (あいだ なおひこ)	1-1	大原女	掛け軸	不明
会津若松市出身(1888年～1946年) 日本水彩画会	1-2	不明	81×100	不明
1907年 福島県立工業学校 染織科 卒業 上京して太平洋画会研究所で学び、のちに日本水彩画会研究所に通う				
1909年 第3回文展「炉のほとり」など3点が入選				
1910年 第4回文展「静けきゆうべ」など3点が入選 以降文展、帝展にたびたび入選				
1937年 第1回新文展で無鑑査となる				
1913年 赤城泰舒とともに日本水彩画会の創立に発起人として参加				
1929年 白日会の創立会員となる				
<b>赤城 泰舒</b> (あかぎ やすのぶ)	2	春の多摩川	掛け軸	1921
静岡県出身(1889年～1955年) 日本水彩画会				
静岡中学校を病気のため中退				
1904年に療養のため、父の故郷である塩川町に一家で移り住む。この頃「みづゑ」の絵葉書競技会に応募、掲載される様になった。この読者応募欄で、会津若松の相田直彦と知り合う。				
1906年に上京し、大下藤次郎の内弟子となり、水彩講習所と太平洋画会研究所に通う。1909年、第3回文展に「高原の朝」が初入選する。大下の死後、1911年より「みづゑ」の編集に携わる。				
1913年に日本水彩画会を創立し、1918年には光風会会員となる。				
1921年、文化学院の創立に参加し、絵画科を担当する。				
1938年、新文展に「雲根浄土」を出品し無鑑査となる。				
1943年の第6回新文展では、審査員をつとめた。				
1942年からは女子美術学校の講師となる。				
<b>加藤 藤次</b> (かとう とうじ)	3-1	風景	95×135	不明
会津美里町出身(1900年～1991年) 水彩連盟	3-2	雪山と溪川の対話	135×95	不明
1921年 福島師範卒	3-3	採石場	111×75	不明
1935年 大東会展入選	3-4	高原の冬	76.5×108.5	不明
1937年 白日会展入選、以後連続入選	3-5	たばこ干し場	76.5×110.5	不明
1955年 水彩連盟展入選、以後6回連続入選				
1967年 水彩連盟会員となり以後16回出品入選				
1976年 県展招待、以後毎回出品				
1977年 会津美術協会副会長となり、個性ある作家の育成に努めた				
<b>荒川 三郎</b> (あらかわ さぶろう)	4-1	お城稻荷神社	57×75	不明
会津若松市出身(1902年～1986年) 水彩連盟	4-2	廃坑の夏	59×75	1938
会津中学を卒業後、東京に出て美術を学び、若松女子高に長く勤めた	4-3	晩秋	59×95	1937
	4-4	銀杏の道	59×95	不明
水彩連盟会員、会津美術協会会長として、会津洋画壇の重鎮と	4-5	早春	80×108	1957

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
して後輩の指導にあたった 1968年会津若松市文化功労賞受賞				
<b>春日部 たすく</b> (かすかべ たすく)	5-1	花に狂う蝶たち	91×91	不明
会津若松市出身(1903年～1985年) 水彩連盟	5-2	風花	92×52	不明
上京して川端画学校に入学	5-3	山沼花	91×51.5	1972
1926年 会津中学校の美術クラブ(後素会)の出身者による 洋画団体(彩光会)を田部喜市、長尾三郎(荒川三郎)、 渡部菊二、角田行夫、長沢節らとともに創立する	5-4	さまよえるナミ	55×73	1957
1927年 槐樹社展初入選、以来日本水彩画会、中央美術など の公募展に出品入選を重ねる	5-5	高原の春	72.5×116	1945
1929年 帝展初入選				
1935年 土曜会を主宰し新興水彩画の指導発展に努める				
1940年 荒谷直之助、小堀進ら8名と水彩連盟を結成				
1948年 日本山岳画協会会員に推挙				
1954年 国立近代美術館の「水彩と素描展」に出品				
1956年 爽々会を結成し、以後毎年出品する				
1960年 アメリカの要請によりアメリカ各地で酒井三良、斎 藤清と三人展を開催				
1986年 水彩連盟展に「春日部たすく賞」が設けられる				
<b>渡部 菊二</b> (わたなべ きくじ)	6-1	日蝕	91.3×115.3	1936
会津若松市出身(1907年～1947年) 水彩連盟	6-2	土に憩う	92.4×64.9	1940
1919年 県立会津中学校入学、美術同好会「後素会」に参加	6-3	戦国の少年	76×60.2	1943
1924年 旧制会津中学校卒業後、門田小学校や第一尋常高等 小学校の教員となる、教え子に長沢節氏がいる	6-4	人々	91.5×65.5	1937
1931年 第18回日本水彩画会展に「花園風景」で初入選	6-5	機械工	86.9×61.7	1938
1933年 上京し、第10回白日会展に油彩「女人挫像」出品	6-6	ジャワの娘	88.4×51.8	1939
第20回日本水彩画会展に「浮世絵のある静物」	6-7	ジャングルの旗	59.8×52.5	1942
「緑服の少女」を出品	6-8	三人	113×85	1936
1934年 第11回白日会展に「少女像」を出品、白日会会友 に推挙される、第21回日本水彩画会展に「黒衣婦 人」「街の手品師」「人形売りの少女」「新聞売り」 を出品し第一賞を受賞				
1935年 第12回白日会展に「少女像」「花を持つ少女」な どを出品し日本水彩画会会員に推挙される				
1936年 第13回白日会展に「野に座す」「二少年」「人形を 抱く」「野の少年」を出品、会友奨励賞を受賞し会 員に推挙される、昭和11年度文展監査展に「日蝕」 を出品し入選、この作品は全国に知られる秀作				
1938年 第15回白日会展に「二人の女」「砲車と女」「女の 像」を出品				
1940年 会津中学の同級生の春日部たすく氏らと水彩連盟 を結成				
1942年 第29回日本水彩画会展に「南の友人」「ジャング ルの旗」を出品				

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
1943年 第20回白日会展に「戦国の少女」「黄八丈の女」 「暮るる印旛沼」「職場死守」を出品 会員賞を受賞				
<b>渡部 百合子</b> (わたなべ ゆりこ)	7-1	氷河の花 (1)	104×78	不明
北海道小樽市出身 (1907年～1998年) 水彩連盟	7-2	向日葵	84×65	1938
1925年 北海道室蘭高等女学校卒業	7-3	集落	64×39	1958
1930年 上京	7-4	はた・A	96×62	1966
1933年 日本水彩画会展初入選	7-5	鏡よ鏡	96×62	1969
1936年 渡部菊二と結婚。二科展入選				
1938年 二科展入選				
1939年 日本水彩画会会員となる				
1945年 会津若松市に疎開				
1949年 上京。水彩連盟展出品				
1950年 日本水彩画会退会				
1955年 水彩連盟会員となる				
1958年 藤江志津子と二人展				
1961年 現代水彩作家展に参加、以後1963年まで継続				
1970年 白日会退会				
1974年 「白夜の北欧スケッチの旅」参加 服部怜子と二人展				
1978年 病のため会津若松市に移り住む				
1981年 渡部百合子スケッチ展				
<b>青津 清喜</b> (あおつ せいき)	8-1	清流	56×76	1952
湯川村出身 (1910年～1993年) 日本水彩画会	8-2	赤衣の座像	113×79	1979
1932年 東京美術学校卒業 (現、東京芸術大学)				
1950年 日本水彩展・南薫造記念賞受賞 (会友推挙)				
1951年 日本水彩展・奨励賞受賞 (会員推挙)				
1952年 日本水彩画会福島県支部設立 第1回県水彩展開催				
1961年 福島大学学芸学部教授となる				
1966年 日本水彩展審査員となる				
<b>角田 行夫</b> (つのだ ゆきお)	9-1	早春	51×64	1931
会津若松市出身 (1911年～1994年) 日本水彩画会	9-2	戸ノ口原草原	52×64	1933
1927年 会津中学在学中に絵画サークル「彩光会」結成に参加し、春日部たすく、渡部菊二の指導を受ける	9-3	芦ノ牧残雪	57×71	1934
1931年 第8回槐樹社展「早春」入選。第18回日本水彩画家展「武蔵野風景」入選	9-4	工場風景 (A)	57×71	1936
1932年 第19回日本水彩画家展「山」「山みち」入選	9-5	裏磐梯噴火口全景 (AB)	80×170	1936
1933年 第20回日本水彩画家展「山崖 (東山傘岩)」入選				
1934年 第21回日本水彩画家展「石切山風景」入選				
1935年 第22回日本水彩画家展「湯の上温泉」、第22回光風会展「羽黒山雪景」入選 第1回東光会展「松 (鶴ヶ城跡本丸内)」入選、春日部たすく、渡部菊二、脇田和等と共に「土曜会」を結成し、第1回展を東京堂 (神田) で開催				
1946年 会津文化協会常任理事となる				

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
1958年 会津美術協会創立に参加、会長に就任、市教育委員となり、教育委員長を二期務める 1963年 市議会議員（二期8年） 1978年 市文化功労表彰受賞				
<b>原 則文</b> （はら のりふみ） 会津若松市出身（1915年～2003年） 水彩連盟 福島師範学校卒業 会津美術協会事務局長（S56. 4. 1～H5. 3. 31） 会津美術協会顧問（H5. 4. 1～） 大潮展入選（水彩画出品）	10-1 10-2	夏井川溪谷 本郷大橋附近	122×91.5 100×131	不明 不明
<b>長 沢 節</b> （ながさわ せつ） 会津若松市出身(1919年～1999年)元日本水彩画会・元水彩連盟 本名は昇。県立会津中学校を卒業後、文化学院美術科へ進学 1937年 第24回日本水彩画展で初入選 1939年 日本水彩画会会員 1943年 水彩連盟会員、戦時下、新制作派協会展に出品し、新作家賞を受賞。戦後は、水彩連盟展に出品しスタイル画部門を創設した 1952年 セツモードセミナーを設立し、その後ファッション界、広告界で活躍する第一線のクリエイター達を多数送り出す 1995年 国立近代美術館、日米水彩展招待出品、長沢節の晩年のプロフィールには、元日本水彩画会会員、元水彩連盟会員と元が付いている、「長沢節と風景たち」「私の水彩」「デッサン・モード」などの著作物も多く出版した	11-1 11-2 11-3 11-4 11-5	少年 男性の座絵 ユタカ チェイルリーのカフェテラス トレドは雨	76×55 115×85 73×100 53×77 53×77	不明 1961 不明 1975 不明
<b>大竹 千恵</b> （おおたけ ちえ） 喜多方市出身（1918年～2003年） 水彩連盟 第38回会津総合美術展 市長賞 1986年から会津総合美術展 招待 水彩連盟会津支部展出品（しらい画廊） 県美協展会員、水彩連盟展準会員	12-1 12-2	飛天1 飛天2	90×117 90×117	不明 不明
<b>根本 草一</b> （ねもと そういち） 会津若松市出身（1923年～2001年） 水彩連盟 荒川三郎氏に師事 1955年 第15回水彩連盟展でプールヴー賞受賞。会津総合美術展入賞、以後4回入賞 1959年 水彩連盟準会員 1969年 第三文明展入選、以後毎回入選 1989年・1996年 しらい画廊において個展開催 1994年 兆グループ展開催	13	宝の山会津の磐梯山	55×77	1993

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
<b>栗城 一雄</b> (くりき かずお)	14-1	秋景	100×130	1973
金山町出身 (1926年～2010年) 水彩連盟	14-2	幽谷の斜陽	160×130	1992
1957年 水彩連盟展初入選				
1965年 水彩連盟展初受賞				
1967年 会津美術展招待				
1969年 水彩連盟会員推挙				
1978年 水彩連盟会津支部長				
<b>橋本 照</b> (はしもと てる)	15-1	蝶 (夏の夜に)	146.5×98	1961
東京都出身 (1927年～2014年) 水彩連盟	15-2	街 (暮色)	118×92	不明
1958年 会津美術展、県総合美術展初入選	15-3	花	118×92	不明
1959年 水彩連盟展初入選	15-4	冬日	150×92.5	1976
1960年 水彩連盟展初受賞	15-5	北の街 (もれ日)	143×109.5	1993
会津美術展入賞、以降入賞多数				
1962年 県総合美術展美術賞受賞				
1964年 会津美術展招待、水彩連盟会員推挙				
1965年 水彩連盟展審査員、以降、県総合美術展、 県勤労者美術展審査員など歴任				
1966年 県総合美術展招待				
1973年 水彩連盟会津支部長				
1993年 個展 (しらい画廊)				
1996年 水彩連盟会員賞受賞 荒川三郎遺作展 (文化センター) を企画運営 水彩連盟会津支部20回展記念誌発行主宰				
1998年 個展 (銀座: 画廊「風童門」)				
2000年 橋本照回顧展 (三島町「やまびこ」)				
<b>春日部 洋</b> (かすかべ ひろし)	16	パリ	76×55	1950
東京都出身 (1930年～1998年) 無所属				
叔父の春日部たすくに感化され画家の道を目指す				
1955年 国立近代美術館「日米水彩展」に招待される、野口 弥太郎に師事する				
1961年～1963年 滞欧、サロン・ドートンヌ、サロン・ ナショナル・デ・ボザール等に出品				
1963年 ル・サロンで受賞、国際形象展に招待される、以後 毎年招待出品				
1967年 国立近代美術館「近代日本の水彩と素描展」に出品				
1970年 再渡仏しパリに定住				
1971年 サロン・ドートンヌ会員に推される				
1979年 サロン・デ・ボザール会員に推される				
1981年 フランスより帰国、以後毎年パリのアトリエにて制 作				
<b>五十嵐 二郎</b> (いがらし じろう)	17-1	フィレンツェ眺望	90×130	不明
新潟県佐渡市出身 (1931年～2015年) 一陽会、元水彩連盟	17-2	晴れゆくドナウ河(ウィーン)	97×145.5	不明
1955年 水彩連盟展で、みづゑ賞受賞 以後、同展で、三宅 賞、会員努力賞受賞				

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
1956年 文化学院美術科卒業 1959年 一陽展で特別賞受賞、以後同展で、青麦賞、会員努力賞、野間賞受賞 1966～1967年 日動サロンで個展 1968～1972年 昭和会展出品 1970年 安井賞展出品、水彩画研修のために英国留学 1971年 現代日本新人絵画展（高島屋東京店）出品 日動展（日動画廊）出品、以後毎年 1971年～1974年 新鋭選抜展（三越日本橋店）出品 1972年 現代美術家秀作展（飯田画廊別館）出品 太陽展（日動画廊）出品、以後毎年 1972年～1974年 推薦作家展（日動画廊）出品 1973年 新宿・小田急百貨店で個展 月刊誌「アトリエ」2月号（アトリエ出版社刊）に 紹介文“ウィットワース・アートギャラリー”掲載 1975年～1991年 サロン・ド・アブリル展（日動画廊） 出品 1977年～1982年 水彩秀作20人展（日動画廊）出品 1984年 福島県立美術館開館記念、現代東北美術の状況展出品 水彩秀作20人展（三越日本橋本店）出品 1985年 別館日動画廊で個展 1986年 新潟・大和百貨店で個展 1988年～1991年 月刊誌「一枚の繪」（一枚の繪刊）に “五十嵐二郎の水彩実践講座”を48回 連載 1992年～1998年 風景展（日動画廊）出品 須賀川市文化センターで福島空港開館 記念個展 2012年 大地の祈り「五十嵐二郎・小泉智英二人展」須賀川 市博物館 2015年5月 回顧展 ギャラリー マスガ				
<b>渡部 常好</b> （わたなべ つねよし）	18-1	花	45×37	1982
下郷町出身（1931年～1998年） 二紀会	18-2	磐梯山	38.5×41	不明
1954年 二紀展初入選（以後入選多数） 1964年 東京で個展開催（エンポリウム・丸光デパート） 1966年 福島県総合美術展奨励賞連続3回受賞 1967年 二紀会同人推挙 1978年 現代洋画選抜展、日中招待展出品 1983年 第6回日伯現代美展日伯賞受賞 1986年 コレクター絵画展2位 1988年 福島県美術協会展、飛田賞受賞				

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
<b>武藤 信義</b> (むとう のぶよし)	19-1	澆季	177×92(鏡2枚)	1973
朝鮮慶尚北道出身(1932年～1992年) 水彩連盟	19-2	能 千鳥	92×74	1980
1962年 第21回水彩連盟展『みづえ賞』(奨励賞) 1965年 第24回水彩連盟展会員推挙 1969年 福島県総合美術展『福島県美術賞』: 福島県芸術祭 選抜秀作展出品(招待) 以後1979年まで。 1982年 第2回選抜美術展出品(招待) 猪苗代町広報『いなわしろ』民話挿絵担当、 1989年まで 1986年 『新しい生活』道徳教科書挿絵(2年～6年)執筆				
<b>高畑 正</b> (たかはた ただし)	20-1	下宿から見た河内長野	34.6×59.5	1967
湯川村出身(1948年～1977年) 無所属	20-2	怨念恐山20	125×159.5	1973
1948年5月 旧勝常村に父恒夫、母泰子の次男として生まれる	20-3	乳母捨山	124.8×174.5	1973
1967年4月 大阪芸術大学美術科に入学する	20-4	夢シリーズ「古井戸の悪魔」	53×45.5	1977
1972年2月 進行性筋萎縮症と宣告される	20-5	はじめて降った雪	72.7×60.7	1977
1974年12月 第10回∞展に出品する				
1977年6月 高畑 正・田島征彦二人展(岩瀬ギャラリー) 12月 県立医大附属病院にて死去する 12月 第3回X展に15点を展出する				
1979年12月 高畑正遺作展(県文化センター)開催				
1980年2月 高畑正遺作展(東京銀座ギャラリー:ロイヤル サロンギンザ)開催 5月 高畑正遺作展(大阪梅田:画廊みやざき) 6月 高畑正遺作展(水戸市:舘画廊) 8月 高畑正遺作展(会津若松市:坂井画廊)				
1985年5月 高畑正遺作展(湯川村:村公民館)開催				
2008年4月 絵筆にかけた青春高畑正展(喜多方市美術館)				
2012年4月 画家たちの「二十歳の原点」に出品(平塚市美術館)開催 6月 画家たちの「二十歳の原点」に出品(下関市立美術館)開催 8月 画家たちの「二十歳の原点」に出品(碧南市藤井達吉現代美術館)開催 9月 画家たちの「二十歳の原点」に出品(足利市立美術館)開催				
<b>坂井 健</b> (さかい けん)	21-1	天樹	41×31.2	2005
会津若松市出身(1948年～2008年) 水彩連盟	21-2	偽りの座標	44×36	2005
1985年 水彩連盟展初入選 1987年 水彩連盟展初受賞 県総合美術展初入選、以後6回入選 1989年 第三文明展初入選、以後1回入選	21-3	御詠歌がこだまする	41×31.2	2006

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
1991年 会津総合美術展、教育長賞 県美術協会展、特選（山川賞）				
1992年 会津総合美術展、教育長賞 福島勤労者美術展、県知事賞				
1993年 会津総合美術展、佳作賞				
1994年 県総合美術展、県美術準大賞 OHARA 水彩展、入選 会津総合美術展、熱塩加納村長賞				
1995年 水彩連盟展、奨励賞（ヴィック賞） 会津総合美術展、美術協会賞 県総合美術展、無鑑査に推挙				
1998年 水彩連盟会員推挙				
1999年 県総合美術展美術大賞受賞 個展（喜多方市）				
2008年 県総合美術展・洋画部門最優秀賞受賞				
<b>大内 孝</b> （おおうち たかし）	22-1	彼岸獅子	112×145	1987
会津坂下町出身 大潮会	22-2	地吹雪のあと	120×150	1983
<b>横山 豊</b> （よこやま ゆたか）	23-1	静寂	52×36	不明
無所属	23-2	夕映	52×36	不明
旧制喜多方中学校卒業	23-3	街	52×36	不明
音楽の教師を務めながら独学で水彩画を学ぶ	23-4	裏通り	33.4×21.2	不明
<b>川井 源治</b> （かわい げんじ）	24	陸奥311章	91×116.7	2012
猪苗代町出身（1918年） 水彩連盟				
1961年 水彩連盟展初入選				
1962年 水彩連盟展初受賞				
1969年 水彩連盟会員推挙				
1993年 水彩連盟会員賞受賞				
1996年 個展（矢吹町）以降多数				
2003年 水彩連盟会津支部長 猪苗代町在住				
<b>永島 一信</b> （ながしま かずのぶ）	25	塩の道	80×104	1997
喜多方市出身（1927年） 日本水彩画会				
1952年 福島県中学校教員養成所 修了				
1952年 公立学校中学校教員として採用				
1989年 日本水彩画展 三宅賞				
1999年 日本水彩画会会員				
2004年 公募 ふるさとの風景展 準優賞				
2006年 県展 美術奨励賞				
現在、県水彩画会、日本水彩画会、県美術協会、会津美術協会、 喜多方美術協会、以上の会員 喜多方市在住				

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
<b>渡部 憲司</b> (わたなべ けんじ)	26-1	運河	72×53	不明
喜多方市出身 (1928年) 日本水彩画会	26-2	街	53×72	不明
旧制喜多方中学校卒業	26-3	街 (Ⅱ)	72×53	不明
福島師範学校卒業	26-4	街 (Ⅲ)	53×72	不明
日本水彩画展、独立展、会津総合美術展、福島県総合美術展、	26-5	河	72×53	不明
福島県美術協会展、福島県選抜秀作展、東北選抜展、福島の美	26-6	河 (Ⅱ)	64×89	不明
術家たち展、新槐樹社展、新協展、三軌展、大潮展に出品	26-7	河 (Ⅲ)	53×72	不明
日本水彩展真野賞、会津展旅行賞、県展美術賞、特別賞、教育	26-8	初夏	72×53	不明
委員会賞奨励賞等を受賞する				
個展を東京、福島市、会津若松市、喜多方市で23回開催する				
日本美術家連盟会員				
県総合美術展招待、審査員、運営員、福島県美術協会副会長、				
県美術家連盟副委員長、県水彩画会副会長、会津美術協会会長、				
喜多方美術協会副会長、会津卯月会会長を歴任する				
喜多方市在住				
<b>五十嵐 光昭</b> (いがらし こうしょう)	27	少女が舞う	180×150	不明
昭和村出身 (1928年) 水彩連盟				
田島町と会津若松市で育つ、謹教小学校、若松四中に勤務				
1953年 千葉市に移住				
1954年～ 水彩連盟初出品、'55奨励賞受賞、'56会友推				
挙、'57会友賞受賞、'60会員推挙、'72渡部				
菊二賞受賞、'83文部大臣奨励賞受賞				
1956年～'67 二科展に油絵を出品、'66特選受賞				
1962年～'74 第一回福島県選抜秀作展から13回展ま				
で招待出品				
1974年～'78 亜細亜現代美術展出品、'75外務大臣賞				
受賞賞、他委員賞受賞				
1973年～'94 千葉そごう企画展より19回個展開催				
1975年 フランス・パリ、ウエル画廊企画展招待出品				
1976年～'80 ローマン派美術協会展招待出品、相談役				
1977年 千葉県選抜秀作展招待出品				
1979年 水彩画の歩み展 (福島県文化センター)、招待出品				
1981年～'82 日本画廊協会賞展、招待出品				
1985年 日米現代水彩画展、招待出品				
1991年 福島の美術家たち展、招待出品				
1994年 千葉県立美術館開館20周年記念特別展「房総の				
美術～昨日から明日へ」展、招待出品				
現役職 水彩連盟委員、水彩連盟千葉支部長、千葉県美術会常				
任理事、千葉県展事務局長、千葉市美術協会理事、千				
葉水彩展顧問、千葉福島県人会幹事長				
千葉市在住				

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
<b>石田 千枝子</b> (いしだ ちえこ) 東京都出身 日本水彩画会 1978年～1986年 会津総合美術展入賞8回 (会津美術協会長賞、教育長賞、会津若松市長賞、喜多方市長賞、他) 1976年～1982年 福島県水彩展 特選、会員努力賞 1976年～1995年 福島県美術協会展入賞5回 (特選飛田賞、他) 1981年～2014年 県展佳作3回 1982年～1984年 日本水彩画会奨励賞、不破氏賞 1998年 異なる風土の出会い展 2002年～ 個展4回 (喜多方市民ギャラリー、ギャラリーアブドウ、ギャラリー三遊) 2003年～ グループ展7回 (ギャラリー大和川、ギャラリー山形、ギャラリー三遊2回、ギャラリーアブドウ、会津美術家秀作展、会津俊英美術展) その他 会津総合美術展審査員、日本水彩画会審査員 所属 日本水彩画会会員、福島県美術協会幹事、福島県水彩画会委員、会津美術協会理事、喜多方美術協会理事	28	漁を終えて	80.3×100	2014
<b>小林 清彦</b> (こばやし きよひこ) 会津坂下町出身 (1931年) 日本水彩画会 1976年 福島県総合美術展佳作 2009年 福島県総合美術展佳作 第97回日本水彩画会会員に推挙される 現在、日本水彩画会所属、会津総合美術展洋画部委員、県美術協会会員、県水彩画会会員 会津坂下町在住	29	なつかしの会青橋	55×77	2007
<b>佐藤 一良</b> (さとう いちろう) 会津美里町出身 (1931年) 武蔵野美術学校卒 (現武蔵野美大) 個展 うるしやギャラリー、会州一蔵ギャラリー (水彩画も発表) 現在 会津坂下町在住	30	カラコルムにて	65×80	1983
<b>小関 綾子</b> (こせき あやこ) 喜多方市出身 県水彩画会 福島県立喜多方高等学校中退 会津美術展 美術協会賞、佳作13回 県水彩画展 特選、日本水彩画会賞、奨励賞3回 シルバー展 福島県知事賞、福島民友賞、県教育長賞 福島県美術協会展 佳作3回 会友 佳作1回 福島県総合美術展 入選12回 2005年 会津総合美術展 会津美術賞	31	早春の山里	80×110	2010

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
2012年 会津総合美術展 奨励賞 福島県水彩画会、イーゼル会				
<b>角田 和子</b> (つのだ かずこ) ----- 三重県津市出身 水彩連盟 ----- 第63回 福島県総合美術展 美術奨励賞 会津美術展に二回入賞 現在 水彩連盟会津支部に所属	32	黄の景	116×90	2015
<b>若菜 友子</b> (わかな ともこ) ----- 喜多方市出身 県水彩画会 ----- 喜多方女子高卒業 2006年 県美術協会 特選 2006年 県シルバー展 県知事賞 2014年 県水彩画会会友依嘱出品	33	炉端	116.7×90.9	2012
<b>森田 慶一</b> (もりた けいいち) ----- 会津若松市出身(1937年) 水彩連盟 ----- 1986年 水彩連盟展初入選 1995年 県総合美術展初入選 1999年 県総合美術展奨励賞受賞 2003年 会津美術展初受賞 2007年 水彩連盟会津支部長 2008年 水彩連盟会員推挙 2014年 県総合美術展奨励賞受賞	34	黒の記憶3. 1 1 荒	116.7×91	2014
<b>星 陽子</b> (ほし ようこ) ----- 会津若松市出身 日本水彩画会 ----- 星薬科大学卒業 福島県総合美術展40回入選、平成13年美術奨励賞 勤労者美術展、平成14年県知事賞 シルバー美術展、平成15年依嘱特別賞 個展(喜多方厚生会館、大和川酒造北方風土館、矢吹町ふるさと の森芸術村、アートギャラリー三遊2回) 現在、喜多方市在住、日本水彩画会会員、福島県美術協会理事、 喜多方イーゼル会会長	35	柳津発電所	116.7×80.3	2015
<b>菊地 郁子</b> (きくち いくこ) ----- 会津美里町出身 無所属 ----- 第48回 大潮会大賞 県美術協会賞、日本水彩画展 数回入選 個展 10回(会津若松市文化センター他) 県水彩画展会員推挙 会津若松市在住	36	玉葱	112×150	2003

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
<b>古川 文子</b> (ふるかわ あやこ) 会津若松市出身 モダンアート協会、元水彩連盟 1988年 水彩連盟展 スター賞受賞 現在、会津美術協会、モダンアート協会所属	37	城基1999	120×85	1999
<b>高橋 セツ子</b> (たかはし せつこ) 塩川町出身 県水彩画会 平成16年 会津美協展 (佳作) 平成18年 会津美協展 (佳作) 平成18年 会津美協会会員 平成16年 第50回県水彩展 (佳作) 平成26年 第60回県水彩展 (佳作) 平成26年 県水彩画会会員 現在、喜多方イーゼル会所属	38	沼のほとり	116.7×80	2014
<b>藤井 庚子</b> (ふじい かのえこ) 会津若松市出身 日本水彩画会 福島大学学芸学部 (美術副専攻) 卒業 第57回 日本水彩画会展 初入選 (第90回展 会友推挙・ 第98回展 会員推挙) 第48回 福島県美術協会展 特選 第2回ふるさとの風景展 入選 (以降19回展まで10回入選) 第52回 福島県水彩展 会員奨励賞 第61回 福島県総合美術展 佳作 (以降第64回・第68回 佳 作) 個展 (ギャラリー「山形」・ギャラリー「三遊」・矢吹町ふるさ との森芸術村) 現在、日本水彩画会会員、福島県美術協会会員 喜多方市在住	39	無言館の傍らで	80×118	2013
<b>吉井 信夫</b> (よしい のぶお) 会津若松市出身 (1940年) 日本水彩画会 第59回 福島県総合美術展 美術奨励賞 第53、54、55回 福島県水彩画展 特選 第96回 日本水彩画会展 石井賞 (第97回展 奨励賞) 第75、77回 福島県美術協会展 特選 第85～90回 白日会 入選 個展 (ギャラリー岩田) 現在、日本水彩画会会友、県水彩画会会員、県美術協会会員、 アブドウの会・卯月会・会津美術協会委員 会津若松市在住	40	廃屋	90×116	2008
<b>風間 和子</b> (かざま かずこ) 喜多方市出身 水彩連盟 福島県立高等専門学校卒業 第56回 福島県総合美術展 美術賞	41	船だまり	97×116.7	2005

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
第57回 福島県総合美術展 美術奨励賞 第59回 福島県総合美術展 奨励賞 平成元年 福島県勤労者美術展 労働大臣賞 平成12年 第54回 会津美術展 美術賞 平成13年 第55回 会津総合美術展 美術特別賞 平成14年 第56回 会津総合美術展 美術賞 平成11年 福島県美術協会展 会友特選 平成12年 福島県美術協会展 会友特選 2003年 個展（会津若松市文化センター） 2011年 個展（大和川酒造北方風土館） 2012年 個展（美術空間 蔵） 現在、会津美術協会委員、福島県美術協会会員、福島県総合美術展依嘱、水彩連盟準会員 喜多方市在住				
<b>長谷川 英雄</b> （はせがわ ひでお） 湯川村出身（1943年） 県水彩画会 2007年 県展（美術賞）、白日会（入選）、県水彩展（佳作） 2008年 県展（佳作）、県水彩展（佳作） 2010年 県美協展（特選）、ふるさと風景展（入選） 2011年 白日会会友 2012年 県美協80回記念展（協会長賞） 2007年、2008年、2014年 会津美術賞 現在、会津美術協会委員、県美術協会会友、県水彩画会会員、白日会会友 湯川村在住	42	霜の朝	70×110	2014
<b>長谷川 隆子</b> （はせがわ たかこ） 昭和村出身 会津美術協会 第64回 福島県総合美術展 県美術賞 第68回 福島県総合美術展 県美術奨励賞 第69回 福島県総合美術展 県美術奨励賞 個展 2013年 会津画材ギャラリー 2015年 昭和村公民館 現在 会津美術協会所属 会津若松市在住	43	机上の夢	91×117	2010
<b>馬場 正幸</b> （ばば まさゆき） 只見町出身（1945年） 県水彩画会 第20回 福島県勤労者展 労働大臣賞 県展初入選以後12回入選 第58回、69回入賞 第60回 会津美術協会展 準大賞 第60回 県水彩画会賞 特選 第61回 （県）日本水彩画会賞 特選	44	雪の朝	80.3×100	2015

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
会津美術協会委員、県水彩画会会員 会津若松市在住				
<b>渡部 典子</b> (わたなべ のりこ) ----- 会津若松市出身 県水彩画会 ----- 会津坂下町在住	45	裏通り	80×100	2010
<b>五十嵐 近子</b> (いがらし ちかこ) ----- 新鶴村出身 県水彩画会 ----- 日本音楽学校・幼稚園教諭学科 福島県水彩展 4回入賞 (佳作を含む) 会津総合美術展 数回入賞 (佳作を含む) (旧) 会津坂下町ぶどうの会所属 (10年程度) 現在 水彩連盟会津支部所属 会津坂下町在住	46	ふるさと展望 (菜の花の頃)	97×130	2015
<b>石山 かずひこ</b> (いしやま かずひこ) ----- 会津若松市出身 (1948年) 無所属 ----- 東京芸術大学大学院美術研究科油画専攻 修了 個展 (みゆき画廊、ギャラリー・アートもりもと、画廊みゅー ず、喜多方市美術館、アートスペース泉) オーロ遊び展 (アートスペース泉) 色と心とかたち展 (会津若松市文化センター) 六つの方位展 (清澄画廊、ギャラリー・アートもりもと) 栃木県芸術祭美術展 出品及び審査員 (2003年、2009年) 2014年まで文星芸術大学教授を務める 会津若松市在住	47	暮れてゆく時間	91×116.7	2013
<b>和田 京子</b> (わだ きょうこ) ----- 喜多方市出身 日本水彩画会 ----- 2007年 県水彩展 特選 2008年 県美協展 特選 (福島市長賞) 2009年 県美協展 特選 (福島教育長賞)、日水展 初入選 2010年 会津展 (若松市長賞)、県展 (美術奨励賞)、県水 彩展 特選 (水彩画会賞)、俊英展出品 2012年 会津展 (若松市長賞)、県水彩展 (水彩画会賞)、 日水展 (奨励賞) 2014年 日水展会友になる 2015年 会津展 (美術協会賞) 現在、会津美術協会委員、イーゼル会所属 喜多方市在住	48	初冬の静寂	115×96	2010
<b>白井 洋子</b> (しらい ようこ) ----- 喜多方市出身 水彩連盟 ----- 聖徳学園短大卒業 1997年 水彩連盟展 荒谷直之介賞	49	毀れゆく刻	72.7×91	2013

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
1999年 水彩連盟展 春日部たすく賞 喜多方市美術館（白井洋子展） 1998年 有隣室ギャラリー（白井洋子の世界展） 2008年 損保ジャパン美術財団奨励賞 2009年 第28回損保ジャパン美術財団選抜奨励展出品 2013年 横浜そごう個展、上野松坂屋個展 2015年 女流水彩画家5人展 出品（清水康友 企画） 佃堅輔 企画 2009年から出品 各百貨店個展、松屋（銀座）、松坂屋（上野）、井筒屋（博多）、東急（渋谷・長野）、中合（福島・会津）他多数 現在、水彩連盟委員（事務局長）、横浜美術協会理事、日本美術家連盟会員				
<b>五十嵐 君枝</b> （いがらし きみえ） 喜多方市出身 日本水彩画会 1998年～1999年 会津総合美術展 美術大賞（招待推挙） 2000年 白日展 初出品 佳作（会友推挙） 2001年 公募 第13回春日水彩展（兵庫） 大賞（収蔵） 個展12回 現在、日本水彩画会会員 喜多方市在住	50	夏の日	95×120	2014
<b>荒木 南枝</b> （あらかき なみえ） 柳津町出身 県水彩画会 1972年 日本デザインスクール卒業 1978年 第25回県水彩展奨励賞 県水彩展奨励賞（1981年、1983年、1984年、1985年、1990年） 1990年 委員推薦	51	（椿）誘われて	52×74	2015
<b>鈴木 啓二</b> （すずき けいじ） 会津美里町出身（1951年） 会津美術協会 ねぎぼうず塾で水彩・版画の指導を受ける 第64回 会津総合美術展 会津美術協会賞 第23回 勤労者作品展 金賞（会津若松市教育長賞） 第66回 会津総合美術展 佳作 第24回 勤労者作品展 金賞（会津若松市教育長賞） 第67回 会津総合美術展 会津美術賞松川賞 第25回 勤労者作品展 金賞（会津若松市教育長賞） 第23回 福島県シルバー美術展 福島県教育委員会教育長賞 第24回 福島県シルバー美術展 福島県知事賞 第26回 勤労者作品展 金賞（会津若松市長賞） 現在、会津美術協会委員、ねぎぼうず塾所属 会津若松市在住	52	幻冬譜	78×108	2012

作 者	No	タイトル	縦×横(cm)	制作年
<b>花見 潤子</b> (はなみ じゅんこ) 塩川町出身 県水彩画会 北里大学薬学部卒業 1990年 会津総合美術展 初出品 会津若松市長賞、喜多方市長賞、福島県美術家連盟賞、福島民報社賞、受賞 1992年 福島県水彩画展 初出品 福島県水彩画会賞、郡山市教育長賞、奨励賞、受賞 1995年 福島県総合美術展 初出品 佳作受賞 個展 県立川口高校、夢空間(喜多方市) ギャラリー山形(喜多方市) 現在、塩川美術協会、会津美術協会、県水彩画会、塩川萌黄会、坂下ぶどうの会所属	53	おやつの時間	80.3×116.7	2010
<b>後藤 學</b> (ごとう まなぶ) 喜多方市出身(1953年) 無所属 東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻 卒業 東京芸術大学大学院絵画科油画専攻 修了 個展 神田スルガ台画廊、画廊ミューズ、アートサロン環 グループ展開催多数 現在、喜多方市美術館館長 喜多方市在住	54	landscape	72.7×60.6	2015
<b>半沢 政人</b> (はんざわ まさと) 郡山市出身(1965年) 会津美術協会 1989年 多摩美術大卒 全国卒業生選抜絵画展 二紀会 福島県美術奨励賞受賞 1993年 自然を求めて奥会津三島町に移住 1998年 感動創造美術展 奨励賞 1999年 フィレンツェ賞展 2000年 全国童画展 奨励賞、美濃全国和紙画展 環境と都市の美術展 奨励賞 ふるさとの風景画展 優秀賞	55	いのちの風景	115×115	2000
<b>松本 俊夫</b> (まつもと としお) 会津若松市出身	56	夢	116.7×91	不明

謝辞

この展覧会を開催するにあたり下記の方々にご協力いただきました。

深く感謝申し上げます。(五十音順 敬称略)

岩沢 延侷

大竹 紀歳

鶴城小学校

風間 正行

喜多方プラザ (喜多方市役所)

ギャラリーマスガ

栗城 ミチ子

五浪美術記念館

坂井群雅堂

セツ・モードセミナー

高橋成蹊堂

高畑 弘

千葉 洋子

原 康之

みどりホーム

薬膳古川

山口 健次

渡部 憲司

渡部 亮